

## 名 デジタルマンモグラフィ

## 乳房撮影室のお話

乳房撮影室では、X線を用いてマンモグラフィ検査を行っています。マンモグラフィ検査とは、乳房専用のX線撮影装置を用いて、やわらかい組織で出来ている乳房の状態を微細な石灰化や、自分では分かりにくい小さなじりなど、乳がんをはじめとする乳房にできる多くの病気を見つけ出せる検査です（図1）。

当院では、デジタルマンモグラフィ装置（即真1）が2台稼働しており、健診や精検マンモグラフィ撮影、マンモトーム生検を行っております。

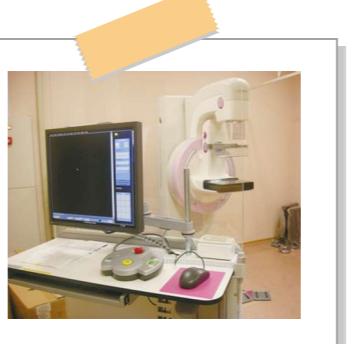


写真1: デジタルマンモグラフィ装置

図1: マンモグラフィで発見できるがん



図2: 部位別罹患率 2012 (女性)

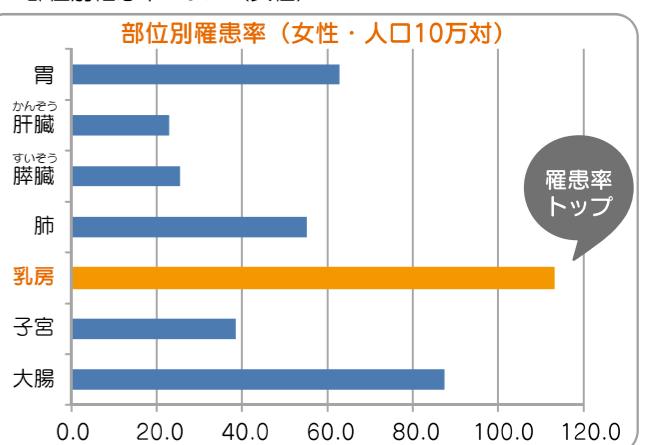
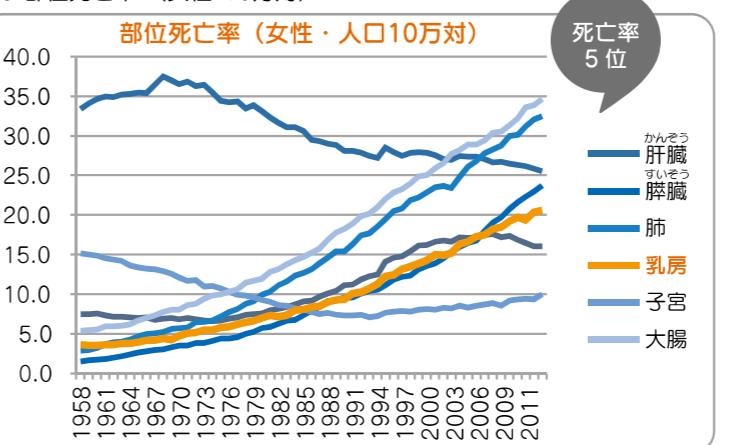


図3: 部位死亡率 (女性・10万対)



資料：国立がん研究センターがん対策情報センター 作図：済生会宇都宮病院

検査はどのように行つるの？

マンモグラフィ撮影では、乳房全

体を压迫板でやや強めにはさみ、平たく引き伸ばします。上下方向と斜め方向から左右それぞれ撮影します。マンモグラフィは左右の比較が重要なため、基本的に両側の撮影を行います。

個人差はあります、が、圧迫の際に多少痛みを伴うことがあります。しかし、より良い画像を得るためにには分だと乳腺と脂肪、血管などの重なりで病変が正確に描出されないとあります。また、圧迫することによって被ばくを少なくでき、少しの放射線でじりや石灰化の形がはつきりとわかるようになります。

圧迫による痛みはリラックスして体の力を抜くと軽減できる事もあります。一定以上の圧迫はかけられないと設定されており、無理な圧迫は行いませんが、じつしても我慢できない場合は遠慮なく申し出てください。

**マンモグラフィの画像**

乳房は白く、脂肪は黒く写ります。しこりや石灰化も白く写ります。乳がんが疑われる場合は、疑わしい箇所を拡大して観察しやすくする拡大撮影などを追加します。

**石灰化**

撮影画像（MLO 画像 石灰化所見）

石灰化は乳腺内にできるカルシウムなどの沈殿物で、画像には白く粒状に写ります。形状や分布などによって良性か悪性かを分類します。

**腫瘍（しこり）**

左右で比較すると、左の乳房に白く光って見えるところがあります。しこりの辺縁や乳腺と比較した上で濃度の差によって良性か悪性かを分類します。

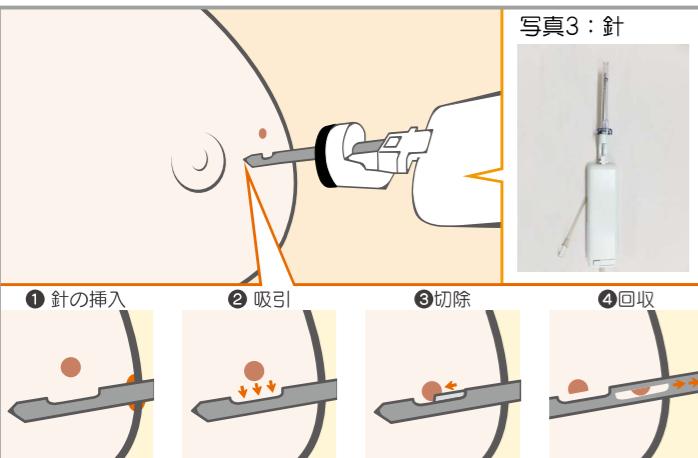


写真2: 乳房専用組織吸引システム「マンモトーム」

当院では乳房専用組織吸引システム「マンモトーム」（即真2）を用いて、病変の一部を採取し病理組織診断を行う生検も行っています。

もし、乳房の中に疑わしいものがいる場合、その一部を取つて顕微鏡で確認する組織検査が欠かせません。以前は切開生検によつて病巣の一部を採取するのが一般的でした。それが外したり、十分な量が採取できない場合がありました。そのため複数検査を繰り返したり、幸い良性であつても乳房に傷が残つたり、変形することもあつたため、多くの女性は「がんの不安を払拭したいけど、胸に傷が残るのは…」といふジレンマを抱えることになつてしましました。そこで登場したのがマンモトーム検査です。

図4: マンモトーム検査の手順



この検査はマンモグラフィで病変を確認しながら針（写真3）を刺し入れ、針の側面にある吸引口で組織を採取します（図4）。このシステムにより狙つた病変部の組織だけを無理なく採取でき、また乳房内で針が360度回転するため一回の穿刺で多数の組織が採取できます。検査時間は30分～1時間程度となりますが、ベッドで横向きに寝ながら検査をします。局所麻酔をかけるため傷口は4mm程度であり、縫合の必要もありません。約1ヶ月程度で傷は自立たなくなります。外来で行えるので入院の必要もありません。

乳房撮影室では、X線を用いてマンモグラフィ検査を行っています。マンモグラフィ検査とは、乳房専用のX線撮影装置を用いて、やわらかい組織で出来ている乳房の状態を微細な石灰化や、自分では分かりにくい小さなじりなど、乳がんをはじめとする乳房にできる多くの病気を見つけ出せる検査です（図1）。

当院では、デジタルマンモグラフィ装置（即真1）が2台稼働しており、健診や精検マンモグラフィ撮影、マンモトーム生検を行っております。

## 乳がん検診に行こう！

乳がん検診は、マンモグラフィを原則とし、40歳以上は2年に一度、マンモグラフィと超音波を併用することが望ましいとされています。そのため適切に撮影された「質の高いマンモグラフィ」が必要となります。

日本乳がん検診精度管理中央機構は、撮影の精度を高め維持するため、医師・診療放射線技師ならびに施設の評価を行い、全国的に統一された認定試験を行っています。当院は、**マンモグラフィを撮影する診療放射線技師は、全員女性技師**で、「検診マンモグラフィ撮影技師」の認定を受けており、「検診マンモグラフィ読影認定医師」が画像を読影しています。また、「マンモグラフィ検診施設画像認定施設」も取得しています。

マンモグラフィ検査は患者さまのご協力が不可欠です。安全で負担の少ない検査になるよう最善を尽くしますので、安心して検査をお受けください。

